

平成 28 年度不祥事ゼロプログラム検証結果

○検証方法

平成 28 年度の各教職員の事故・不祥事防止の取組みを、10 月の中間検証と 2 月の年度末検証で、次の 10 項目の課題についての「日常点検チェック表」により、達成状況を検証した。

○：よく取組めた。 △：ときどき取組めた。 ×：取組めなかった。

	課 題	目 標 (取組み)	年度末検証結果		
			○	△	×
①	法令遵守意識の向上 (公務外非行の防止、 職員行動指針の周知、 徹底)	日常的に自らの行動を行動規範に照らし 合わせることで、法令順守意識の向上を 図り、公務外非行を未然に防ぐ。	91.6%	8.0%	0.4%
②	わいせつ・セクハラ行 為の防止	職場での生徒や教育実習生、同僚に対す るセクハラやパワハラを起こさない体制 作りを目指す。	99.6%	0.4%	0.0%
③	体罰、不適切な指導の 防止	全ての教育活動において体罰を根絶す る。生徒に対する不適切な指導を行なわ ない体制作りを目指す。	98.7%	1.3%	0.0%
④	成績処理及び進路関係 書類の作成及び取扱い に係る事故防止	マニュアルに沿った成績処理及び進路関 係書類の作成を進め、正確で丁寧なチェ ックを徹底することで、ミスの無い業務 執行体制を構築する。	100.0%	0.0%	0.0%
⑤	個人情報等の管理、情 報セキュリティ対策 (パスワードの設定、 誤廃棄防止)	成績処理、成績管理を適切に行い個人情 報の漏洩を防ぐ。個人情報の取扱いに対 する正しい認識を持ち、適正に対応す る。	97.0%	1.6%	1.3%
⑥	交通事故防止、酒酔 い・酒気帯び運転防 止、交通法規の遵守	日常的に交通法規の遵守を呼びかけ、交 通事故、交通違反を未然に防止する。	100.0%	0.0%	0.0%
⑦	業務執行体制の確保 (情報共有、相互チェ ック体制、業務協力体 制)	「ほう・れん・そう」の徹底を心がける と共に、複数の職員によるチェックを確 実に行うことで、ミスの無い業務執行体 制を目指す。	98.2%	1.8%	0.0%
⑧	会計事務等の適正執行 (備品の現物照合)	会計の執行において、適切な手続きと処 理を行なうことで事故 0 を目指す。備品 等の管理を的確に行う。	97.8%	2.2%	0.0%
⑨	入学者選抜に係る事故 防止	県の指針に従い、マニュアルを改訂し、 マニュアルに沿って相互に確認と点検を 行なうことで、ミスの無い業務執行体制 を確立する。	100%	0.0%	0.0%
⑩	保護者・県民に対する 丁寧で適切な対応	保護者や県民の皆様からの要望や問い合 わせに対して、わかり易く丁寧に適切な 対応を行う。	97.9%	1.3%	0.0%

<まとめ及び次年度の課題>

毎回の職員会議後に事故不祥事防止職場研修会を開催するとともに、毎日の職員打ち合わせの際に事故防止に係る標語を示すなどして、日常的な事故不祥事防止の意識啓発ができた。各課題の取組みも高い達成状況であり、有効に意識啓発が図れた。その中で「法令順守意識の向上」にやや課題が見られたので、次年度の重点項目として職員全体で取組んでいきたい。